

子どもも教師も不幸にしない「幸せの教育改革」対話 ースーツケースを捨てて、ふろ敷の学校を創るー

学校でのマニュアルは枠、大空ではスーツケースと呼んできた。教師はスーツケースに子どもをはめ込む。スーツケースに入らないサイズの子どものがいっぱいいる。スーツケースに無理矢理入れられた子がいっぱいいる。マニュアルを「へんだ へんだ」と思っている、それを継続していると何かやっている気になる。スーツケースを捨てる。身動きがとれない。じゃあ新しいものをつくろう。誰もやったことがないから管理職もそうでない人もみんなが対等になる。こうなってはじめて 人と人との対話が生まれる。対話を重ねて生まれてきたのが、ふろ敷。

上記は、大空小学校初代校長 木村泰子氏の言葉である。何をやってもうまくいかない教育改革。なぜなのか。ヒントは足下にある。子ども目線になり学校のおかしい、へんを考えてみて欲しい。「あれはダメ、これもダメ」と浮かんでくるものこそが解決すべき真の課題。それを問うことなく行政の教育改革を最優先で実行するよう指示する一部の残念な管理職を木村氏は「化石」と呼ぶ。化石の存在と言動が子どもと保護者、そして志しある教員を不幸にする。誰も不幸にしない「幸せの教育改革」とは何か。キーワードはふろ敷。本シンポジウムでは大空小学校での学校創りの実績と経験をもつ木村氏との対話を通じて、化石にならない方法と、ふろ敷の学校創りを学ぶ。



★木村 泰子（きむら やすこ）氏

2014 年に上映され大反響となった映画「みんなの学校」の舞台、大空小学校初代校長。「すべての子どもの学習権を保障する」という理念のもと、教職員や地域の人たちと共同し、映画にでてくる大空小学校を創った。

2015 年春 45 年間の教職歴をもって退職。現在は、全国各地で講演活動を行う。著書『学校の未来はここから始まる』、『「ふつうの子」なんて、どこにもいない』など多数。

木村氏からのメッセージ：「本気で学び合いましょう！」

当日は、参加者の悩み・質問に木村氏が直接応答します。

日 時：2025 年 2 月 2 日（日）10 時-13 時（※9 時 20 分 開場）

集え！学校の「おかしい、へん」と対峙し、子どもを守る志しある教師たちよ！

会 場：埼玉大学 総合研究棟 1 号館 1 階 シアタールーム（対面で実施。オンライン配信なし）

埼玉県さいたま市桜区下大久保 2 5 5 会場は常時換気をしますので暖かい服装でご来場ください

アクセス：JR 京浜東北線「北浦和駅」西口からバス「埼玉大学」（終点）下車 約 20 分

JR 埼京線「南与野駅」からバス「埼玉大学」下車 約 15 分

参加費：社会人 1000 円（※会場にて現金払い）、学生無料（※学生証を確認します）

定 員：先着 130 名程度（右の QR コードより事前申し込みをしてください。先着順です）

※QR コード下の URL からでも申し込み可能です。

※操作がうまくいかず事前申し込みができない場合、当日、会場へお越しください

※本シンポジウムは、学校教員でなくとも参加可能です。

<https://forms.gle/PP7NETCozzsrS9NEA>

「すべての子どもの学習権を保障する」学校と教師を支えたいという保護者や地域の方は大歓迎です。

本シンポジウムへの批判のための参加や、木村氏への批判を行うための参加はお断りいたします。

